

# AI時代におけるファッションの保護

筆者：アリソン・ハーディング (Allison Harding) &  
ケビン・キュルブス (Kevin Kuelbs)

人工知能 (AI) は、ほぼ全ての産業に影響を及ぼします。中でも、創作芸術における AI から受ける影響が特に複雑で物議を醸しています。ファッション業界において、小規模の独立ブランドから大規模の企業まで、消費者需要の特定と新製品の設計のために、多大なリソースが費やされます。しかしながら、AI を活用した追跡アルゴリズム、リバース・エンジニアリング、そして、量産型ファッションアーティストの作品が増えつつあり、それにより、それらの類似製品が、デザイン及びマーケティングにおける諸経費を発生させることなく生産され得ることになってしまっています。こうして、ファッション製品の模倣からクリエイターを守ることの複雑さが、すでにブランド自体のリソースを制約してしまった関連コストと共に増しており、ブランドオーナーは、それらがもたらす重大な課題に直面しています。

## ケース・スタディ：独立ブランド *PopFlex*® 側で考えられる防御策

フィットネス起業家兼 *PopFlex*® のオーナーである Cassey Ho 氏（以下、「Cassey」と言う）が最近、侵害に対して彼女自身のデザインを弁護する際に面した難局とそれを成功に乗り越えたことについて公然と話し始めました。Cassey のブランド *PopFlex*® は、「ピルエット・スコート」でごく最近知られています。「ピルエット・スコート」とは、テイラー・スウィフトがミュージックビデオとソーシャルメディア投稿の両方でラベンダー色のものを着用したことでポップカルチャーに大きな反響を呼んだスカートです。そのスコート（スカートとショーツの両方の特徴を合わせた衣類）は、短期間で爆発的に話題となり、様々な色

合いと長さのものが展開されるようになり、米国の大型小売店 Target での限定販売シリーズまでありました。ピルエット・スコートはその成功によって AI を利用した模倣のターゲットとなりました。しかしながら、Cassey は、全ての小規模のデザイナーもがしたわけではないことをしました。それは、彼女は、テイラー・スウィフトがその注目を集めたビデオを公開した約 8 か月も前である 2023 年 8 月に自身のスコートに関わる米国デザイン特許 (USD1010983S1) を取得していました。今、Cassey は、彼女のピルエット・スコート単体の模倣品を販売する 393 のネット販売業者と、PopFlex® の様々な製品を包含する彼女の他の 4 つのデザイン特許に関連する 100 以上の他の販売業者を打ち負かしたことを主張しています<sup>[1]</sup>。

ピルエット・スコートにまつわる最も注目すべき事件として、大手ファストファッションブランド Shein 及び Nordstrom との状況が挙げられます。Shein は、AI と大規模な業界全体にわたるデータ収集の到来以前ではまったく不可能な成果とも言える 60 万個ほどの多くのアイテムを随時に自社のウェブサイトに掲載するようにデザインを高速で具現化する AI をテコにして利益を最大化しています<sup>[2]</sup>。このように、2022 年に最大で 1 千億ドルの価値があると評価された Shein は、競合製品が急速に発展するトレンドファッションに 대응するように多大なリソースを有する多くの企業の 1 つとなりました。

こうして、独自の創作的なファッションブランドにとって、新製品の発売以前から自身のデザインを保護するための考えられる防御策を熟考することが、これまでになく重要となります。Cassey は、2022 年 8 月にピルエット・スコートを発表し、その後、2023 年 1 月に、デザインが改良された 2 つ目のバージョンを再び発表しました<sup>[3]</sup>。この 2 回目の発表から 3 週間以内に、Shein は、スコートの複製品をリリースしました。PopFlex® が使ったマーケティング・イメージさえも模倣したと言われました。AI モデルにより消費される膨大なデータ量を考慮

すれば、この状況は、珍しくなく、そのような仕組みの出力が複製品、派生商品、又はその他のものであり得るかという問題が絶えずに投げかけられます。

元々、Shein は、Cassey とのパートナーシップを要求し、更なる問題を防ぐために Cassey に新しいデザインを Shein に提示させようとして、Cassey に会合を求めましたが、合意には至りませんでした。その状況をきっかけに、Cassey は、ピルエット・スコートの最初の発売から1年後の2023年8月に彼女自身の1つ目のデザイン特許出願を提出しました。Cassey は、直近のブログ投稿において、Shein に彼らの陰で彼女がこのデザイン特許を取得する行動を起こし、彼女が自身のブランドと製品ラインナップを保護できる方法を学べたとお礼を言いました。特に、もし彼女が Shein と実際に会合したタイミングで Shein と会合していなかったとしたら、彼女は、最初のデザインを発売した1年後に自身の米国デザイン特許出願を提出することができたように自身のデザイン特許出願をひっくるめて提出するタイムウィンドウを逃していたかもしれません。

この出来事以来、別の大手小売店がピルエット・スコートに類似する製品を発売しました。Gottex により製造され、Nordstrom で販売されたピルエット・スコートを模倣した可能性のある別のものを発見した後に、Cassey の法務チームは、Nordstrom に停止・中止通告書を送りました<sup>[4]</sup>。状況は未だに未解決ですが、調査によると、Nordstrom のウェブサイトでは模倣品であると疑われているスコートはもう販売されていないことが分かりました。それは、Cassey は彼女のデザイン特許を通じてこのデザインを保護することに少なくともある程度成功したことを示したとも言えるでしょう。

### ファッションにおける知的財産保護の種類

今日のファストファッションと AI の世界において、アーティストが自身の作品を保護する様々な方法を理解することは極めて重要です。ファッション保護とい

う観点に関しては、次の通りより詳細に説明される以下の知的財産（IP）ツールを最大限に活用すれば大きな成果を生み出すことができます。

1. 実用特許
2. デザイン特許
3. 商標
4. 著作権

これらのツールの其々は、デザインされ、生産される衣類品の特徴次第で多種多様な方法によって利用され得ます。いくつかの状況においては、最大限の保護を提供するためにこれらのツールを全て同時に活用することができます。他の状況では、これらの保護方法の全てが適用可能なわけではありません。例えば、実用特許とデザイン特許の両方の出願は必ず、販売の最初の申し込み、販売、印刷物における開示、又は公開使用から1年以内に提出されなければなりません。衣類品の販売の申し込みから1年以上が経過している場合、デザイン特許、又は実用特許は、当該デザインを保護するツールとして利用不可ですが、商標と著作権は、以下に説明するように、依然として利用可能です<sup>[5]</sup>。

実用特許がファッションに利用されることは、最初は考えつかないかもしれませんが、実用特許は、ファッションアイテムの機能的な側面の保護を提供します。実用特許の取得は、著しく高額かつ複雑で、特許発行まで通常、数年かかりますが、機能性衣料の場合、それは極めて重要であることが明らかです。例えば、Spanx LLCが2024年に「ストレッチブル・ガゼット」（伸縮性のあるマチ）に関わる特許（米国特許第12,121,075号）が許可されました。あらゆる衣類品が実用特許の対象に適するわけではありませんが、衣類品の機能的な側面を基準として考慮されるべきツールです。

デザイン特許は、衣類品に関する特許の取得において、比較的が高くなくよりシンプルな手段であり、衣類品の機能性よりも主に衣類品の美観に重きを置いています。基本的に、デザイン特許は、審査を経て発行されるまで9～12か月の

期間がかかり、発行から15年の存続期間が与えられます。デザイン特許は、維持年金がなく、明細書が含まれていないため、法的料金が実用特許出願よりも著しく低いです。デザイン特許の権利行使には、完全な模倣が要件ではなく、それよりも、判断の基準が「先行技術を熟知する通常の観察者が、被疑デザインが特許デザインと同一であると誤信させられる」かです。したがって、デザイン特許は、実用特許よりも効果的かつ低コストの保護手段を提供します。ただし、上述したように、出願は正しいタイミングで行わなければなりません。

商標は、ブランドの名称及びロゴの保護を、特許保護よりもかなり低コストで提供します。ファッションという観点から、トレードドレスは、特に有用な商標の一区分です。消費者が製品の外観を特定のブランドと関連付けた場合、トレードドレスは、当該製品の全体的な外観に関連付けられます。例えば、消費者は、赤い靴底のハイヒールをクリスチャンルブタンと関連付けます。多くの場合、ブランドは、最初にデザイン特許や実用特許を取得し、後に、当該デザインが業界において確かな実績を得ると、製品が希釈化となるため、副次的な保護手段を得るようにトレードドレス保護をテコにして利益を生み出すようにしています。

著作権は、図形、模様、又はファブリックデザインを含む、衣類品の芸術的な側面において保護を提供することができます。著作権は創作された時点で生じるものですが、著作権の登録は、権利行使の前提条件であり、単純かつ手の届くものです。著作権保護は、衣類品が、その有用な物品自体から切り離される特殊化された画像や芸術的な描写を含む場合には特に役に立ちます。

## 結論

迅速かつ総合的なファッションデザイン及び生産におけるリソースとして利用されるAIの現在の傾向を踏まえて、企業にとって、自社のデザインを保護するための選択肢を理解することはこれまでになく重要です。AIが業界に与える影響を

考慮すると、アーティストは、利用可能な様々な IP ツールの中から 1 つ又は複数を使って、正しいタイミングで自身のデザインを保護する価値を理解するように早い段階で努めるべきです。タイミング、美観及び機能性次第で、実用特許、デザイン特許、トレードドレス、及び／又は、著作権をテコにして最大限に利用することによって利益を生み出すことが可能となります。

#### 参考文献

[1] Blogilates, HBD to me and my first design patent!, <https://www.blogilates.com/blog/happy-birthday-to-my-first-design-patent/>

[2] Medium, SHEIN and the Rise of Ultra-Fast Fashion: A Case Study on the App that Changed Shopping Forever, <https://medium.com/@adesinaf23/shein-and-the-rise-of-ultra-fast-fashion-a-case-study-on-the-app-that-changed-shopping-forever-f0f41312151d>

[3] McGrath, Louise, A CRIME OF FASHION: POPFLEX, A CASE STUDY OF A BRAND VICTIMIZED BY INTELLECTUAL PROPERTY THEFT.

[4] Blogilates, One of the largest retailers in America is trying to silence me, <https://www.blogilates.com/blog/popflex-nordstrom-rack-dupe/>

[5] Landslide. Friedland, et al. Choosing the Right IP to Protect Fashion Goods.